

「人がきらめきだれもが安心・安全にくらせるまち 五霞」の実現に向け まちづくりの指針となる

「第5次五霞町総合計画後期基本計画」を策定しました

町では、平成22年に平成31年度を目標年度とした「五霞町総合計画基本構想」及び平成26年度までを計画期間とした「前期基本計画」を策定し、基本計画に定めた町の将来像「人がきらめきだれもが安心・安全にくらせるまち 五霞」に向けて、さまざまな行政施策に取り組んできました。

この前期基本計画が平成26年度をもって終了するため、平成27年度を初年度とする後期基本計画を策定したほか、基本構想の一部を変更しました。

《計画策定の経過》

計画策定にあたっては、五霞町総合計画審議会（菊地正明会長ほか19名）に諮問しました。

審議会では、平成26年6月27日に染谷町長からの諮問を受け、慎重に調査・審議を重ね、2月16日に答申しました。

また、計画策定にあたり、町民みなさんの意見収集のため、次のアンケートなどを実施しました。

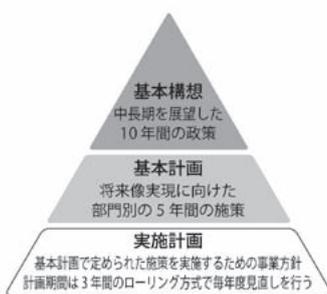
- ・住民アンケート調査
- ・事業所アンケート調査
- ・各種団体との意見交換会
- ・若者アンケート
- ・若者ワークショップ
- ・中学・高校生ワークショップ
- ・中学生ワークショップ



中学・高校生ワークショップ



【答申】猿橋副会長(左)、菊地会長(中央)



《計画の構成と期間》
総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3段階で構成されます。それぞれの期間は、次のとおりです。

訪れてみたい

○圏央道五霞インターチェンジ周辺地域整備・活用プロジェクト

○道の駅を核とした交流拠点形成プロジェクト



《重点プロジェクト》
訪れてみたい（関心）
住んでみたい（共感）
暮らし続けたい（愛着）
の3つのキーワードに代表される施策を重点プロジェクトとして位置づけました。

暮らし続けたい

○地域公共交通システム構築プロジェクト

○見守り・助け合いプロジェクト

○地域づくりプロジェクト

○人づくりプロジェクト



住んでみたい

○災害に備えるまちづくりプロジェクト

○五霞ライフ応援プロジェクト

